

東郷町人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要

国の定めた長期ビジョン及び総合戦略を勘案して、目指すべき将来の方向や平成 72 年（2060 年）までの人口の将来展望を提示した「東郷町人口ビジョン」及びその実現に向けた「東郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

人口ビジョン

1 本町人口の状況

【人口動向】

・総人口は、増加を続けており、平成 22 年の国勢調査では 41,851 人となっています。国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計では、平成 72 年では 42,852 人になると予測されています。

【人口動態】

- ・自然動態は、出生と死亡の差による自然増を維持しているものの、その値は減少傾向となっています。
- ・合計特殊出生率は 1.67 であり、国、愛知県を上回る値となっています。
- ・社会動態は、不況時を除いて、転入が転出を上回る社会増となっています。
- ・20 歳代後半から 30 歳代後半にかけての年齢層で転入超過となっています。

2 現状のまとめ

【まち】

- ・自然増・社会増が続くことで、今後も人口増加が続くと見込まれています。
- ・「セントラル開発」にともない、さらに人口が増加することが予測されています。

【ひと】

- ・結婚や住まいの購入を契機とした若い世代の流入が多いため、有配偶率や合計特殊出生率が高くなっています。
- ・団塊の世代が高齢期に入ったことで、高齢化が進行しています。

【しごと】

- ・通勤可能な町外の地域に多くの就労の場があり、町内で従業する人の割合が低く、ベッドタウンしての色が強くなっています。

3 目指すべき方向と人口の将来展望

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

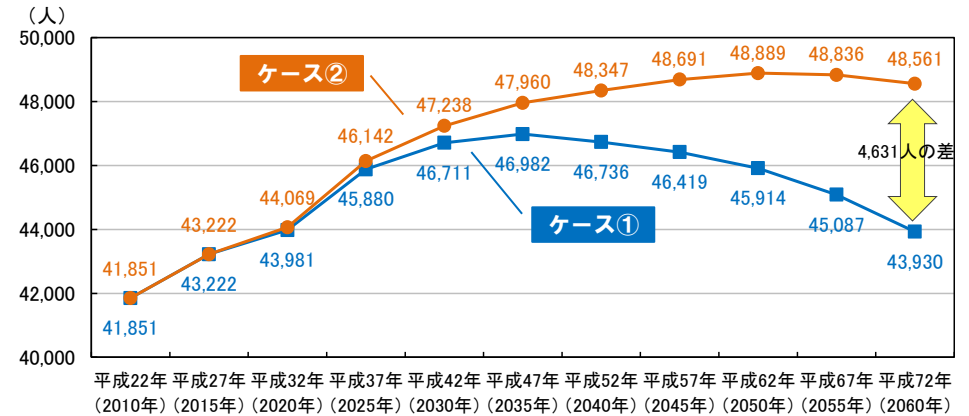
- ・アンケート調査をもとに算出した、若い世代の結婚・子育ての希望が実現した場合の本町の出生率は 1.77 となっています。
- ・結婚・出産は個人の自由な意思や価値観に基づくものでありますが、若い世代の希望が実現できるように、出産・子育て環境の充実を図っていくことが必要です。

住み良いまちとして、今後も継続的に発展していく

- ・今後も継続的に本町が発展していくためには、自然環境の維持とまちの発展として必要な開発を両立していくことが重要です。
- ・新たな雇用の場を創出し、引き続き若い世代に選ばれるまちとして発展していくことが必要です。

【本町人口の長期的な見通し】

1～3を踏まえ、出生率について異なる仮定値を設定し、2つのケースで本町独自の人口シミュレーションを行いました。



○ケース①では、平成 47 年の 46,982 人をピークにその後減少に転じ、平成 72 年には 43,930 人となると推計されます。

○ケース②では、平成 62 年の 48,889 人をピークにその後減少に転じ、平成 72 年には 48,561 人となると推計されます。

→ケース②が実現できれば、平成 72 年においても約 48,000 人の人口が確保できることから、ケース②を本町が活力を維持していく上での人口の目安として設定し、様々な施策を進めていくことが求められます。

【シミュレーションの条件】

出生率

ケース①：出生率が現状程度で推移する場合

ケース②：出生率が上昇する場合（平成 42 年（2030 年）までに 1.8、平成 52 年（2040 年）に 2.07 に回復）

移動率

国立社会保障・人口問題研究所推計の値に準拠

移動数

セントラル開発で見込まれる計画人口 2,400 人を見込んで算出する。開発にともなう新規流入者は夫婦と子ども 1 人の世帯と仮定し、平成 37 年（2025 年）、平成 42 年（2030 年）、平成 47 年（2035 年）については、対象世代には推計された人口に上乗せして算出。その際、開発後のビルトアップ率を踏まえた値を見込んで上乗せする。

1 策定にあたっての3つの視点

視点1 まちの創生

町民一人ひとりが夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成

視点2 ひとの創生

地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保

視点3 しごとの創生

地域における魅力ある多様な就業機会の創出

2 基本目標と施策

基本目標1 しごとをつくり、安心して働けるようにする

既存産業の強化や新たな企業の誘致、新規創業の支援、セントラル開発にともなう大型商業施設の立地を進めるほか、豊かな自然環境を活かした農業の活性化に取り組むことで、「しごと」の創出を目指します。

指標	現状値	目標値
町内従業者数	12,365人	14,500人
東郷町内で働く町民の数	5,810人	6,300人

施策○町の産業を活性化し、新たな産業の誘致を進める

- 創業支援体制を構築する
- 地産地消による農業の活性化を目指す

基本目標2 新しいひとの流れをつくる

本町の魅力を町内外に発信することで、本町に人を呼び込んでいくとともに、すでに本町に住んでいる人からも、今後も住み続けたいと思われるまちづくりを目指します。

指標	現状値	目標値
転入超過数（年間）	266人	300人
昼夜間人口比率	79.7	85.0

施策○魅力あるまちの中心核をつくる

- まちの魅力を発信と交流・定住を促進する
- ひとの流れをつくる基盤整備・機能強化を進める

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

安心して子育てができる環境づくりに一層取り組むとともに、男女それぞれの個性や能力を生かすことのできる社会づくりに取り組み、若い世代の結婚・出産・子育ての希望が実現するまちを目指します。

指標	現状値	目標値
合計特殊出生率	1.67	1.8
安心して子どもを産み育てられると考える町民の割合	44.3%	50.0%

施策○妊娠・出産を支援する

- 安心して子育てができる環境をつくる
- ワーク・ライフ・バランスを推進する

基本目標4 健康で、安全な暮らしを守る

協働のまちづくりを推進していきます。

安全・安心な暮らしを送ることができる環境を確保していきます。

誰もが健康で元気に暮らせるよう、産官学等の連携による健康づくりの支援のほか、元気な高齢者が活躍できるよう社会参加の推進を図ります。

指標	現状値	目標値
東郷町に住み続けたいと考える町民の割合	78.1%	83.0%
健康寿命の延伸	男性 79.86歳 女性 84.44歳	延伸

施策○郷土愛や誇りを持てる地域文化を育む

- 地域の安全・安心を強化する
- 産官学等の連携を強化する
- 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する
- 高齢者の社会参加を推進する

3 総合戦略の推進にあたって

多様な主体との連携／国の制度、施策の活用／PDCAサイクルによる進行管理